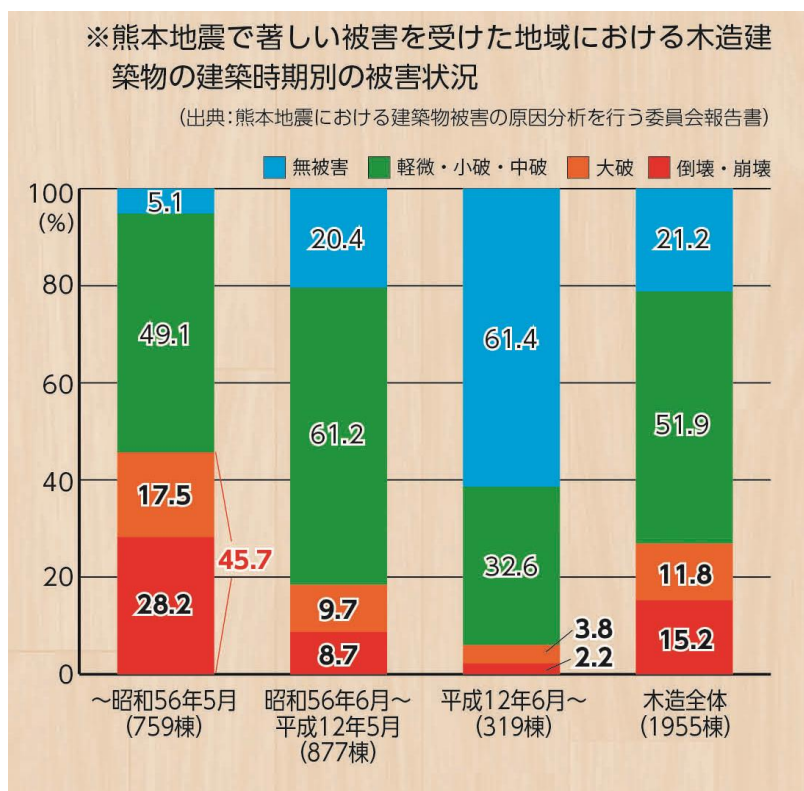


## 旧耐震基準木造住宅は、大きな被害を受けています

**昭和56（1981）年5月以前に建てられた木造住宅**（※「旧耐震木造住宅」）は、現在の基準と比べ、耐震性が低いものが多く、**近年発生した大地震においても大きな被害を受けました。**

平成28年に発生した熊本地震により、著しい被害を受けた地域における「旧耐震木造住宅」の被害は、「倒壊・崩壊」と「大破」を合わせて**45.7%**という調査結果も出ています。

家が倒壊してしまった場合、自分の身を守ることが困難となるばかりか、隣家や通行人に被害を及ぼしたり、救助や消火活動を遅らせてしまうこともあります。また、倒壊まではしなくても、家に住み続けることができず、不自由な生活を強いられることも考えられます。



## 大切なものを守るため、地震に強い住まいをつくりましょう！

命や財産などの「大切なもの」を守るため、**まずは「耐震診断」**を行い、「**住まいの健康状態**」を知ることが大切です。

地震に対して弱いところが見つかったら、「**耐震改修**」などにより「**地震に強い住まいづくり**」を検討しましょう。

